キャバレー日記（1982）

メディア 映画
ジャンル エロティック　コメディ
製作国 日本
色彩 Color
時間 81分
初公開日 1982/06/25

【解説】
　和田平介の原作を映画化したにっかつロマンポルノ作品。キャバレーに生きる人々を赤裸々に描く。監督は「遠雷」の根岸吉太郎、脚本も同作の荒井晴彦が務めた。撮影は前田米造が担当。
　新宿歌舞伎町のキャバレー“ミスニッポン”では、同チェーン店内での売り上げ競争が激化していた。管理も厳しく、社員とホステスの色恋沙汰は厳禁である。新人の和田は酔っ払ったナンバーワンの宏美を介抱するのだが、それを見ていた課長の福永に殴られてしまう。ある日、福永とホステスの淳子が店に出て来なくなる。二人は恋人同士で、淳子は福永の子を身籠っていたのだ。密かに福永に想いを寄せる宏美、あの一件以来宏美を想う和田…。風俗界で繰り広げられる男と女の愛憎をシニカルに映し出す。

【クレジット】

監督	根岸吉太郎
企画	成田尚哉
プロデューサー	岡田裕
原作	和田平介
脚本	荒井晴彦
撮影	前田米造
美術	菊川芳江
編集	川島章正
音楽	伊藤晴康
助監督	鈴木潤一
出演	竹井みどり
	伊藤克信
	上田耕一
	北見俊之
	岡本広美
	青山恭子
	森村陽子

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。　Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.